

平成28年度授業改善推進プラン 《理科》西東京市立ひばりが丘中学校

●全国学力学習状況調査(中3)

課題の見られた問題の概要	結果

●児童・生徒の学力向上を図るための調査(中2)

課題の見られた問題の概要	結果
読み取る力に関する問題	30.1%
解決する力に関する問題	50.9%
思考・判断・表現に関する問題	53.9%

●調査結果を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
調査における「教科の内容」と「読み解く力に関する内容」またその合計は東京都の平均を超えている。特に、基礎・基本や基本的な実験技能に関しては、TT授業の展開や、アクティブラーニングによる成果だと考えられる。	思考・判断・表現の力、読み取る力が課題としてあげられる。アクティブラーニングを展開しながらも、個々にじっくりと考え、自分の考えを記述したり、発表したりする時間を増やしていく。

●前年度の取組及び本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
・TT授業による個に応じた授業により、基礎・基本や実験器具の扱いは定着している。 ・アクティブラーニングによる主体的な授業により関心・意欲の高い生徒が多い。	・自ら考え、記述や発表したりすることが苦手な生徒が多い。主体的・対話的な授業を展開しながら、教員間で連携をしながら解決をしていく。

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	・実験・観察に意欲的に取り組む生徒が多いが、学習した内容が定着できていない。	・授業時数が少ないが(2時間分の教員と1時間分の教員に分かれている)復習を取り入れて定着させたい。
2年生	・基礎・基本が身についている生徒が多いが、思考・判断・表現をする力や、読み取る力が弱い。	・基礎・基本を定着させ、自己でじっくりと問題を考えさせ、主体的・対話的な学習を取り入れ、課題とされる力を育ませる。
3年生	・「聞く、読む力」(読解力)が低い ・「話す、書く」力を高める	「聞く・読む」力は情報を適度に調整しながら想像力を高め、「話す、書く」力は、できる限り時間を取りながら、想像力を高めていく。

●学校全体で取り組む内容

主体的・対話的そして深い学びにつながるアクティブラーニングを主体とした授業を展開してく、国語科を中心に生徒に対し理科的な言語活動を育ませ、授業を展開していく。